

A区分・C区分共通
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和6年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	演劇	種目	児童劇
----	----	----	-----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	C区分
------	-----

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	無	申請総企画数	
---------	---	--------	--

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	かぶしきがいしゃにんぎょうげきだんむすびざ	団体ウェブサイトURL	
	株式会社人形劇団むすび座	https://www.musubiza.co.jp/	
代表者職・氏名	代表取締役 大野正雄		
制作団体所在地	〒 459-8001	最寄り駅(バス停)	名鉄名和駅
	愛知県名古屋市長区大高町字川添86		
電話番号	052-623-2374		
ふりがな 公演団体名	にんぎょうげきだんむすびざ	団体ウェブサイトURL	
	人形劇団むすび座	https://www.musubiza.co.jp/	
代表者職・氏名	代表 大野正雄		
公演団体所在地	〒 459-8001	最寄り駅(バス停)	名鉄名和駅
	愛知県名古屋市長区大高町字川添86		
制作団体 設立年月	1967年1月		
制作団体組織	役員	団体構成員及び加入条件等	
	代表取締役:大野正雄 取締役:永草友子・長田明子 監査役:内山春枝	劇団員39名(制作部8、総務部4、演技部27) 加入の条件:劇団の実施する入団審査に合格すること	
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者を置く	本事業担当者名	磯崎友子
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者名	古田克司
本申請にかかる連絡先 (メールアドレス)	puppet@musubiza.co.jp		

<p>制作団体沿革</p>	<p>昭和42年 人形劇団むすび座創立(昭和49年法人格取得) 昭和63年【受賞】名古屋市芸術奨励賞 同年「世界人形劇フェスティバル'88 in名古屋」(国内外より延10万人が参加)の事務局として中心的な役割を果たす 平成16～令和4年度まで文化庁巡回公演事業継続採択(平成28年度のみ不採択) 平成20年度【受賞】愛知県芸術文化選奨文化賞 平成26年度【受賞】児童福祉文化賞『ピノキオ』 平成28年度 韓国招聘公演『ピノキオ』(ソウル他4ヶ所11公演) 平成29年度【受賞】第33回芸術創造賞(名古屋市文化振興事業団) 平成30年度 韓国招聘公演『ピノキオ』 (ソウル芸術の殿堂11日間14公演 他3ヶ所計19公演) 令和4年度【受賞】児童福祉文化賞『チト みどりのゆびをもつ少年』</p> <p><文化庁舞台芸術創造活動活性化事業>採択実績 平成30年度『オーケストラの生演奏で贈る-音楽人形劇-ピノキオ』 令和元年度『オズのまほうつかい』 令和2年度『チト～みどりのゆびをもつ少年～』</p> <p><厚生労働省社会保障審議会 特別推薦作品> 『ピノキオ』『父と暮せば』(平成26年) 『オズのまほうつかい』『かくれ山の大冒険』(令和元年) 『チト みどりのゆびをもつ少年』(令和3年)</p>		
<p>学校等における公演実績</p>	<p>令和元年度:1,057公演 ●小学校公演:115 ●幼稚園・保育園等公演:786 ●おやこ劇場・公文協・自主公演等:156</p> <p>令和2年度:620公演 ●小学校公演:48 ●幼稚園・保育園等公演:507 ●おやこ劇場・公文協・自主公演等:49 ●乳児向け公演:16</p> <p>令和3年度:804公演 ●小学校公演:39 ●幼稚園・保育園等公演:636 ●おやこ劇場・公文協・自主公演等:114 ●乳児向け公演:15</p> <p>令和4年度:1,037公演 ●小学校公演:120 ●幼稚園・保育園等公演:742 ●おやこ劇場・公文協・自主公演等:157 ●乳児向け公演:18</p>		
<p>特別支援学校等における公演実績</p>	<p>平成13～16年度 愛知県立港養護学校 平成16～27年度 三重県立養護学校北勢きらら学園 平成16年度 愛知県立三好養護・安城養護・豊田市立豊田養護学校 岐阜県立中濃特別支援・飛騨特別支援学校 令和5年度 羽島市発達支援センター</p> <p><文化庁 巡回公演事業等での実施> 平成22年度 三重県立特別支援学校、東紀州くろしお学園おわせ分校 平成24年度 京都府立八幡支援学校 平成26年度 宮崎県立みやざき中央支援学校 平成28年度 名古屋市立南養護学校 平成29年度 三重県立くわな特別支援校、大阪府立西淀川支援学校 令和元年度 千葉県立銚子特別支援学校、山梨県立あけぼの支援学校 令和2年度 高知若草特別支援学校、宇都宮大学共同教育学部附属特別支援学校 令和4年度 三重県立養護学校北勢きらら学園 金沢大学人間社会学域学校教育学類附属特別支援学校 青森県立青森聾学校</p>		
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>	
<p>参考資料の有無</p>	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p>https://youtu.be/LGrW6SuUsRo</p>	
<p>参考資料の有無</p>	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID: PW:</p>	<p>なし なし</p>

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 人形劇団むすび座】

対象	小学生(低学年)	○			
	小学生(中学年)	○			
	小学生(高学年)	○			
	中学生	-			
企画名	元気のでる人形劇 『かくれ山の大冒険』 ～最後まであきらめない弱虫は、弱虫じゃない～				
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	『かくれ山の大冒険』 原作/富安陽子『かくれ山の冒険』(PHP研究所刊) 脚色・演出/北村直樹、美術/福永朝子、音楽/ノヤママナコ、照明/若狭慶大、歌唱/いずみ 公演時間 70 分				
著作権、上演権利等 の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当あり	該当コンテンツ名	原作	
	該当事項がある 場合	権利者名 富安陽子 (PHP研究所刊)	許諾確認状況	使用(上演)許諾取付済	
演目概要	<p>あらすじ—黒猫に誘われ、『かくれ山』の奥深く迷い込む少年ナオ。そこは妖怪たちの住む魔界。猫婦人の屋敷には、人間の子どもたちが捕らえられており、ナオもまたその一人に。猫婦人から逃れるには、天狗の隠れ蓑、鬼の雷の剣を入手し、山姥から猫婦人の弱点を聞き出さなければならない。「そんなの、ぼくにはできない…ありえない…！」ナオの味方は小さなネズミー一匹。気弱なナオと相棒のネズミは、わずかな知恵と米粒ほどの勇気を絞って困難に立ち向かっていく。</p> <p>みどころ—フラフープをネズミの住む穴の入口に見立て、その穴を変幻自在に出没させ、△や□のパネルと布で、ドア・窓・山などの情景を瞬時に創り出すなど、シンプルな「モノ」を生かした表現を随所に取り入れています。それは、既成のものが溢れている中で生活している子どもたちにとって、とても新鮮で、彼らの想像力を刺激し高め、創造力を育みます。</p> <p>俳優は複数の役を演じ分け、また自分の役の人形を遣うだけではなく、ある時は別の人形の手や足を遣い、ある時は舞台情景を作る等、キャスト5人とは思えない程、スピーディーでダイナミックな舞台。そして客席まで人形がとび出す臨場感あふれる演出は、コロナ禍で閉塞しがちであった子どもたちの心を開放し、元気にします。</p>				
演目選択理由	<p>怖がり気弱な少年が、相棒の支えで知恵と勇気を振り絞って、困難を乗り越えていく姿を通して、「友達の大切さ」「勇気を振り絞る事、あきらめずにチャレンジしていく事の大切さ」を子どもたちに伝えます。「あきらめない弱虫はソコムシだ」「成功より失敗が多い、チャンスよりピンチの方が多い」「でも大丈夫」といったメッセージは、子どもたちに生きる希望と勇気を与えます。</p> <p>子どもたちがこれから社会に出て、ある日突然予期せぬ事態が起こる、あるいは巻き込まれ、抗っても向き合えないこともあるでしょう。しかし家族や知人、仲間と助け合って乗り越えた先にあるものは、達成感、安堵感や他者への感謝であったりします。本作品の追体験は、知識となり、自信となり、これから人生を切り拓いていく子どもたちの支え・力となります。自己肯定感の低い子どもたちへの応援歌となります。また、本作品は児童福祉文化財「特別推薦作品」(厚生労働省)等に選定され、高い芸術性と教育的効果を併せ持っており、本事業に非常にふさわしい演目と考えます。</p>				
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<p>劇中で共演—事前のワークショップで、子ども達が独自の発想で、妖怪の人形を作ります。かくれ山の平和を乱していた化け猫が元に戻り、捕らわれた子どもたちが解放され、平和に戻った場面で共演します。ワークショップで作成した妖怪の人形を持って登場し、ネズミや他のかくれ山の住人たちと一緒に喜びを分かち合います。</p> <p>上演後の体験(人形劇の興味がより深くなります)—希望により以下のような体験も可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人形・舞台セットの構造や人形の動かし方の説明、質疑応答コーナー等児童との交流を設ける。 ・退場時、俳優が人形と共にお見送りをします。 				
出演者	小泉裕明、入江靖子、三屋自然、飯田恵美、藤中智光/大野正雄(Wキャスト)				
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者: 5 名 スタッフ: 1 名 合計: 6 名	運搬	積載量: 2 t 車長: 7 m 台数: 1 台		

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み	無	前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	9時	9時～11時30分 (11時30分～12時15分は 共演のリハーサル)	13時30分～14時40分	なし	15時～16時30分	17時

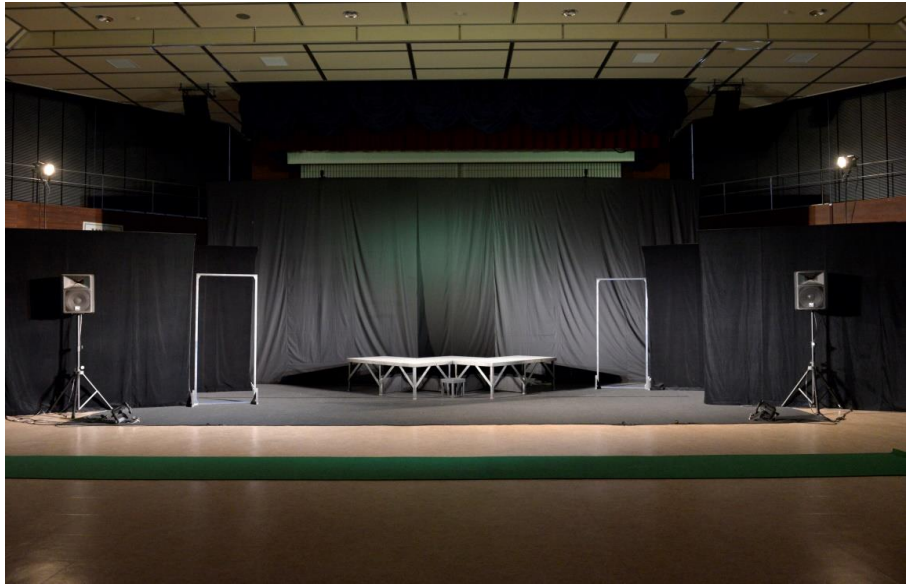
※本公演時間の目安は、午後、概ね2時間分程度です。

本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月	
	10日	9日	0日	6日	5日	
	11月	12月	1月	計	40日	
	5日	5日	0日			
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。					

児童・生徒の 参加可能人数	本公演	共演人数目安	30人程度まで
		鑑賞人数目安	350人程度まで

舞台の様子

体育館のフロアに舞台を設置します。
舞台設置に必要な面積
間口：12m
奥行：7m



上演の様子

公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出がわかる写真)

※採択決定後、図面等の提出をお願いします。



【公演団体名 人形劇団むすび座 】

児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	30人程度まで									
ワークショップ 実施形態及び内容	<p>所要時間:90分程度(2時限)</p> <p>① <u>仲良くなるゲームで、緊張をほぐそう</u> アイスブレイキングゲームで、お互いの心とからだの緊張をほぐします。</p> <p>② <u>自分だけの人形を作ろう</u> ※材料は劇団で用意します かくれ山に住む妖怪を作ります。 「天狗」「山姥」「鬼」の中から作りたい人形を一つ選んで作ります。</p> <p>③ <u>作った人形を動かしてみよう</u> 人形の口を動かしてしゃべってみたり、お互いに見合いながら面白い動きやポーズ、表情を発見しましょう。</p> <p>④ <u>共演シーンの練習をしよう</u> ラストの「かくれ山」に平和が戻り、住人(妖怪)たちが喜び合う場面で自作の妖怪の人形を遣って出演します。共演場面がどういった場面なのか、登場人物がどのような感情なのかを皆で共有し、シーンを創り上げます。</p>											
ワークショップの ねらい	<p>◎最初にゲームをすることで、緊張をほぐしコミュニケーションをとりやすい雰囲気を作り、想像力・創造力が発揮されやすい環境をつくります。</p> <p>◎白くて細長い柔らかい素材を組み合わせることで人形を作ります。シンプルな素材の組み合わせだからこそ、自由な発想を生み出し、独創性を育みます。</p> <p>◎そこに置かれている人形は、ただの「モノ」なのに、動かしてみると魔法がかかったように命が宿り、笑ったり、泣いたり、怒ったりと様々な表情が表れます。それを子どもたちに発見・体験してもらうことで、想像力が育まれ、人形で表現する楽しさ、面白さを実感します。</p> <p>◎共演では、お芝居の内容や感情をお互いに共有し、集団で演技することで、自発性、コミュニケーション、チームワークなどを学び、達成感、充実感を得ます。</p> <p>※本ワークショップを体験することで、本公演鑑賞の際に、より深い興味を持って鑑賞することができます。</p>											
その他ワークショップに 関する特記事項等	<p>【かくれ山に住む妖怪たちの人形の作製見本】</p> <table style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td style="width:33%;">天狗</td> <td style="width:33%;">山姥</td> <td style="width:33%;">鬼</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			天狗	山姥	鬼						
天狗	山姥	鬼										
												
												

本事業への申請理由

【公演団体名

人形劇団むすび座

】

①本事業に対する取り組み姿勢

・子ども時代に、豊かで質の高い生の舞台芸術に接することはとても大切なことです。しかし、まだ日本ではその重要性が認識されておらず、特に子どもの場合は、舞台芸術に興味があり、鑑賞を望んだとしても、親の意向や家庭の経済状況等に左右されてしまいます。また、生の舞台芸術に出会えずその素晴らしさを知らないまま、子ども時代を終えてしまう子どもたちが数多く存在するのが現状です。そんな中で、この「学校巡回公演」は、子どもたちが家庭の状況や居住地等に関わらず、等しく質の高い文化芸術に触れることのできる稀有な事業です。令和4年度からC区分に申請し採択されましたが、引き続き、離島やへき地校にも対応できる、小規模かつ良質な演目「かくれ山の冒険」を申請いたします。きめ細かく子どもたちに寄り添い、日本のどの地域・地方においても子どもたちが「育つ地域・環境・家庭に関わらず文化芸術を享受する」権利を保障するため、厳しい条件の下でも柔軟に対応できるよう経験豊富で優秀なキャスト・スタッフで臨みます。

・本事業の目的「将来を担う子供たちの豊かな感性を育む場を作り、芸術鑑賞能力の向上を図る」は当団体の目的でもあります。その目的達成ために、劇団員の技量・意識の向上を図るべく、演技や人形操作術の他に、脳科学の観点からの舞台芸術の必要性等、様々なワークショップや勉強会に参加し、そこで得た知見を本事業の中に活かして、全力で取り組みます。

②本事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫

・各学校の状況やニーズに合わせたアプローチをします。

私達は、学校現場に演劇的手法を取り入れている先生方の勉強会や、実演家が学校で演劇教育を行うための講座等に参加し、演劇教育の手法や、先生方・子どもたちへのアプローチの仕方を学び、実際の学校現場で実践も積んでいます。その経験を生かし、先生方のご要望を丁寧にお聞きし、それらを踏まえた上で事業を実施します。

・事前にワークショップの意図・流れ・内容・共演シーンについて、イラスト等で分かりやすく作成した「スタディガイド」と、本公演の打合せ書を担当の先生にお渡しして、本事業の取り組み内容を共有します。本事業の目的やワークショップの必要性等を具体的にイメージでき本事業への理解が深まります。先生方が前向きで積極的に関わってくださることで、子どもたちもより一層期待を持ってワークショップや本公演を迎えることができます。

・ワークショップは主に本公演の俳優・スタッフが行います。本公演で共演する子どもたちは、ワークで出会った俳優・スタッフと再会し、安心してのびのびと演じることができます。

・実務的な面では、本公演当事者がワーク実施時に会場の下見や詳細な打合せを行っているため、本公演をスムーズに開催する事ができます。

以上により、初めて実施される学校さんにも、本事業を安心して、効果的かつ円滑に実施することが可能となります。

本事業に対する
取り組み姿勢、および
効果的かつ円滑に実施
するための工夫

C区分で事業を実施するに当たっての工夫

【公演団体名

人形劇団むすび座

】

C区分で事業を
実施するに当たっての工夫

① 離島・へき地等における公演実績

【離島公演】

- ・平成29年「地獄八景亡者戯Ⅱ」鹿児島県徳之島
「てぶくろをかいに」愛知県篠島
「あかずきんちゃん」愛知県日間賀島
- ・平成30年「トッケビ」鹿児島県徳之島(2回)・奄美大島
「あかちゃんゴリラのゴリゴリ」愛知県篠島
「こぶじっさ」愛知県日間賀島
- ・令和3年「だってだっておばあさん」鹿児島県奄美大島(5回)
徳之島(4回)・沖永良部島(2回)・喜界島
- ・令和4年「ともだちや」鹿児島県奄美大島(5回)、沖永良部島(2回)
・喜界島
「だってだっておばあさん」鹿児島県徳之島(4回)
「オズのまほうつかい」鹿児島県徳之島

【へき地公演】

- ・令和元年「かくれ山の冒険」愛知県設楽町小学校へき地芸術教室
旧下山村小学校4校合同公演

② 離島やへき地等の地理的に特殊な事情がある地域で実施する上での工夫や、小規模な公演であっても公演及びワークショップの質を保つための工夫

【特殊な事情がある地域で実施する上での工夫】

- *当団体は日本全国で多数(コロナ禍による令和2年度・3年度を除き毎年総合計1000回以上)の公演を行っております。
それぞれの地域の事情に対応し、工夫してきた公演実績も豊富なため、厳しい条件下での公演も可能です。

【質を保つための工夫】

- *本演目は少人数編成ではありますが、経験豊富でレベルの高いキャスト・スタッフで構成しており、質の高い公演及びワークショップが可能です。
また、メンバーはこれまでへき地や離島での公演も多数経験しており、質を落とすことなく、状況に合わせて柔軟に対応することができます。

③ C区分申請における、小規模な公演の観点から実施する経費削減等についての工夫

- *スケールの大きな舞台ですが、構成人数を必要最低限の6人にし、大道具・小道具も簡素化していますので、全体的な経費の削減となっています。
- *離島・へき地の場合、ワークショップと本公演を同日内に実施することも可能です。その場合、事前にリモートで人形製作ワークショップを行います。本公演当日のワークショップは、緊張をほぐすゲームをしたあと事前に作成した人形の動きと共演の練習をし、本番に臨みます。